

鹿児島 ROCK NEWS No.1

鹿児島唯一のロッククライミング情報誌（不定期発行）



ナンガパルバットのルパル壁



金峯山の林道ボルダー

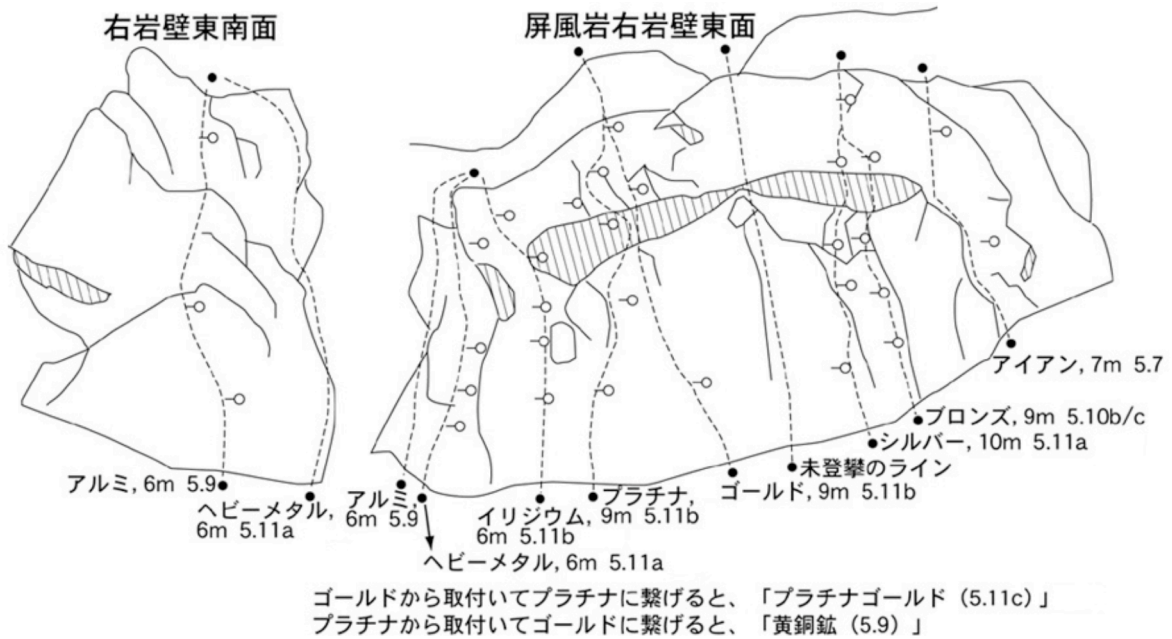
ロッククライマーが登る岩は高度差数千メートルの大岩壁から森の中に転がっている小岩までさまざまです。有名な物も無名の物もそれぞれが世界にただ一つしか存在しません。ロッククライミングは対象物がきわめてローカルである点で、他のスポーツとは大きく違います。ローカルな岩場が大手出版社やマスコミによって紹介されるとクライマーで賑わうようになり、盛り上がります。それが行き過ぎると迷惑駐車やゴミの増加などの問題を引き起こし、地主とのトラブルにつながる場合があります。鹿児島にはクライミングを楽しめる場所はたくさんあるのですが、あまり知られていないせいか、金峯山のほんの一部の岩にクライマーが集中しているようです。

クライミングクラブ鹿児島黒稜会では、鹿児島の各地にある岩場をできるだけ長い間「楽しめる状態」に保つためにはどうすべきか検討を重ねた結果、鹿児島の岩場を紹介する情報誌を自主発行することにいたしました。地元クライマーの役に立つ、具体的な



岩場の情報をお伝えするつもりです。本誌についてお気づきのことがございましたら、編集担当者に電子メール（末尾に記載）でお知らせ下さい。ただし、即答できるとはかぎりませんので悪しからずご了承ください。ロッククライミングは常に重大な事故につながる危険性を伴います。本誌の情報は金峯山におけるクライミング行為の安全を保証するものではありません。

第1号では金峯山東面の中腹にある「屏風岩エリア」を紹介します。金峯山の岩場について、まとまった情報が必要な方は、日本100岩場第5巻、およびRock & Snow No. 23（いずれも山と溪谷社）をご覧ください。



屏風岩は本誌4ページの地図の32番の場所にあります。大坂側から登っていくと道路の山側（左手）にコンクリート擁壁があり、その手前に駐車可能スペースがあります。そこから50mほど戻ったところからヤブに入ります。アプローチの要所に赤テープを巻いてありますが、古いので見えにくくなっているかもしれません。踏み跡を辿って行くと、正面に6メートルくらいの垂直の岩があります。そこで右に折れて、50メートルくらい進むと左手に塔のような岩があります。これが「柱岩」です。そこから20メートルくらい先に「屏風岩左岩壁」、次にハング帯を挟んで「中央壁」があります。さらに20メートルほど先にあるのが「右岩壁」



ブロンズ (5.10b/c)

です。その先は小さな谷になっていて、落石防止の金網が張られています。トップロープをかけるときは、左岩壁と中央壁は岩に向かって左側から巻いて上に出ます。右岩壁

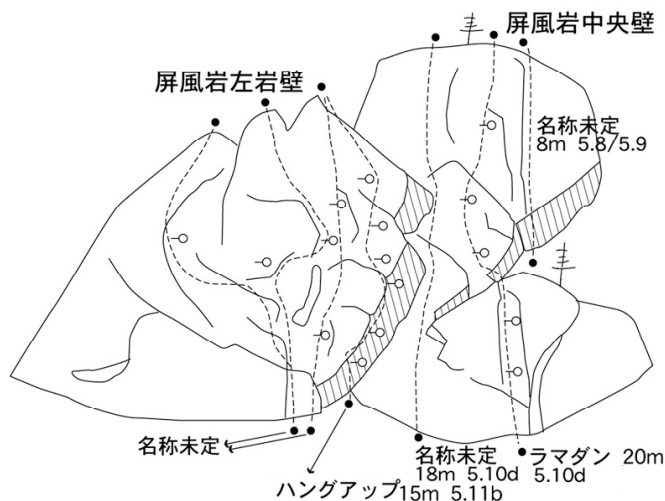


イリジウム (5.11b)

は右から巻きます。トップロープの支点は木から取るので、長いスリングが必要です（一部のルートはボルト支点あり）。右岩壁はほぼ垂直で、中央部に小ハング帯があります。7本のルートが完成していて、左右の端に5.9と5.7の優しいルート、その間にイレブンのルートが並んでいます。中央左寄りの「ゴールド」と「プラチナ」には、それぞれの優しい部分をつなげて登る課題と、難しい部分をつなげて登る課題の二つ

のバリエーションが設定されています。中央の最も高度差があるところを直登するラインは完登されていません。トップロープでトライした感触では5.12の後半はあると思われます。公開プロジェクトですがボルトはまだ設置していません。完登した方は編集担当の山本まで連絡をおねがいします。

「中央壁」は、下部は垂直で上部は80度程度のフェイスです。リードできるルートは一本だけですが、このエリアでは最も高度差があります。トップロープを取るときは、支点になる木が遠いので10m程度の補助ロープが必要です。最近、中央壁と左岩壁の間のハング状部分の左寄りを登るルート（ハングアップ：5.11b）が完成しました。現時点では岩の基部にある転石に乗って取り付いています。地面に立った状態からスタートできれば、もっと難しくなるでしょう。このハングの右寄りの部分は岩が脆いのでまだ手をつけていません。左岩壁は傾斜の緩いフェイスで、5.7から5.9程度のルートがあります。今回紹介できなかった「柱岩」



にもリードできるルートが一本（トシちゃんクラック：5.9）と、未登のフェイス、ハングがあります。柱岩からさらに50mほど登ると「翁岩」があります。翁岩は下部はホールドが乏しいスラブ、上部はかぶったフェイスになっていて、高度差20mくらいのスケールがあります。5.12クラスのルートができそうです。

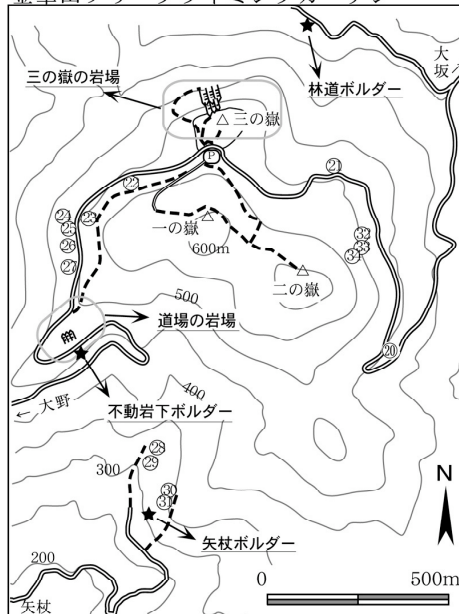


「ハンガアップ (5.11b)」の下部

くなりカーブが連続する上り坂になる。途中で右手に砂利道が分岐していて、そちらに入ると「林道ボルダー」に至る。舗装路の方を辿っていくと一の嶽と三の嶽の間の峠に至る。ここに駐車場とトイレがある。車はこの駐車場か、道沿いの駐車可能スペースに停める（通行の邪魔にならないように）。

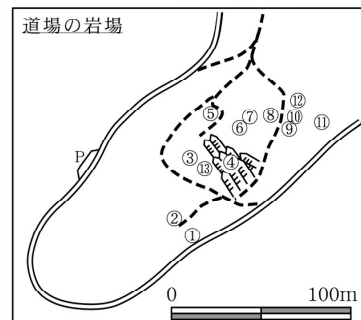
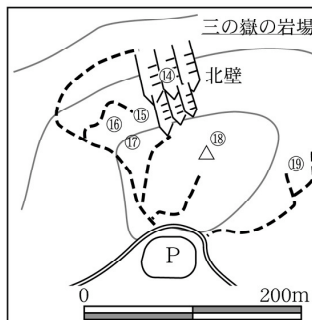
金峯山へのアクセス：鹿児島より国道225号線を南下。笹貫で右折し、市電の踏切を渡ってJR指宿枕崎線を高架で越える。県道20号線を直進し、永田川を渡ってすぐに右折する。指宿スカイラインの谷山IC付近を通過し、県道22号線との分岐点（右側にガソリンスタンドがあるT字の交差点）を左折して「錫山バイパス」に入る。道なりに進んで峠を越えたところで、正面に発電用の巨大な風車、右手に金峯山（三つのピークが並んでる）が見える。大坂（だいさか）の交差点（左側に大坂小学校）を右折してすぐ先の左側にある木造アーチ橋（金峰2000年橋）を渡る。橋の金峯山側に公園とトイレがある。直進するとやがて道幅が狭

金峯山フリークライミングガーデン



- | | |
|----------|----------|
| 1: 仁王岩 | 21: ごまめ岩 |
| 2: 観音岩 | 22: 坊主岩 |
| 3: 弁天岩 | 23: 大仏岩 |
| 4: 不動岩 | 24: 普賢岩 |
| 5: 地藏岩 | 25: 帝釈岩 |
| 6: 羅漢岩 | 26: 孔雀岩 |
| 7: 布袋岩 | 27: 夜叉岩 |
| 8: 文殊岩 | 28: 金闍岩 |
| 9: 彌勒岩 | 29: 銀閣岩 |
| 10: 蓮華岩 | 30: 三蔵岩 |
| 11: 阿修羅岩 | 31: 悟空岩 |
| 12: 薬師岩 | 32: 屏風岩 |
| 13: 翁岩 | 33: 柱岩 |
| 14: 北壁 | 34: 扇岩 |
| 15: 閻魔岩 | |
| 16: 阿弥陀岩 | |
| 17: 毘沙門岩 | |
| 18: 金剛岩 | |
| 19: 念仏岩 | |
| 20: 虚空蔵岩 | |

★ボルダー課題の詳細は、Rock & Snow No. 23 2004年春号（山と渓谷社）をご覧ください。



発行：クライミングクラブ鹿児島黒稜会

代表連絡先：三穂野善則

〒899-5656 始良郡始良町西始良2-4-9

電話 0995-65-6210

電子メール：編集担当 山本啓司

a002_hyam2@mac.com

金峯山ウェブサイト：

http://homepage.mac.com/hyam2/Climbing_Guide/

本誌は複写自由です。複写物を再配布するときは、全ページを一括して配布してください。



スペシャルティコーヒーのカフェ・くらわんか

〒891-0144 鹿児島市下福元町4 7 9 4-3 Tel&Fax: 099-261-3669

日曜休業 土曜日は月三回営業（クライミングウォールがあります。）

<http://homepage.mac.com/hyam2/kurawanka/>